

# アジア学術会議 11月に開催

平成5年10月 日本学術会議広報委員会

今回の日本学術会議だよりでは、アジア学術会議、本年6月に開催された平成6年度日本学術会議共同主催国際会議の概要及び日本学術会議が本年度において実施する地域活性化施策推進事業等についてお知らせします。

## アジア学術会議について

- 1 日本学術会議は、アジア地域の各国を代表する科学者を東京に招き、本年11月15日(月)から18日(木)までの4日間、アジア学術会議を開催します。
- 2 アジア地域と学術分野における国際貢献についての基本的提言は、「学術分野における国際貢献」(No.116 回総会採択) (平成5年4月、日本学術会議第116回総会採択) により、(平成5年4月、日本学術会議第116回総会採択) により、(No.29) 参照) 地理的、歴史的、文化的に多くの共通点を持つ近隣諸国間の交流は、それぞれの国の学術の発展、ひいてはその地域全体の学術の発展にとっても極めて重要なこととあります。
- 3 このことから、日本学術会議は、アジア地域の各国における学術研究の現状について情報交換を行うとともに、アジア地域における学術研究分野での連携・協力の在り方などについて討議し、併せてアジア地域の学術研究者間の相互理解と信頼を深めることを目的として、本年度からアジア学術会議を開催することとしました。
- 4 このアジア学術会議は、特定分野に限らない全学問領域にわたるアジア地域の科学者による連携・協力のための初の国際会議であり、その意義は極めて大きく、日本学術会議では、会議の成果をあげるため、既に本年4月、アジア学術会議実行委員会(委員長:渡邊裕、日本学術会議副会長、副委員長:川田保、同副会長)を設置し、関係学術協会の御協力の下、開催に向け、鋭意、準備を進めてまいりました。

会議の概要は以下のとおりです。

- (1) 主催 日本学術会議
- (2) 日程 11月15日(月) 開会式(基調講演、特別講演等) 歓迎レセプション 16日(火) 会議(自由討議) 17日(水) 視察(筑波研究学園都市) 18日(木) 会議(自由討議、閉会式)
- (3) 会場 三田共用会議所 [東京都港区三田2-1-8] (電話 03-3455-7591)
- (4) 参加者 インドネシア、シンガポール、タイ、大韓民国、中華人民共和国、日本、フィリピン、マレーシアの各国の学術推進機関(アカデミー等)から推薦された人文・社会科学系及び自然科学系の科学者21名

(日本からは、近畿次郎日本学術会議会長及び川田保副会長が出席の予定)

## 議題

- (5) 議題 「アジア地域における学術の発展とそのための連携・協力について」

## 平成5年度地域活性化施策推進事業の実施について

一地域の過去、現在、未来を探るー 東京一極集中を是正し、国土の均衡ある発展を図るため、地域を活性化することの必要性が叫ばれています。この中で、地域の活性化を促す総合的な学術研究の力の向上は、暮らしの質的向上を実現するために不可欠なことであり、また、国際的に開かれた地域を形成するためにも有効なものと考えられます。このため、日本学術会議では、本年度において、国土庁の地域活性化施策推進費を活用して、全国8か所での地域における産官官の協力による公開フォーラムの実施とその報告書作成を柱とする「ふるさと学術推進事業」を実施することとしました。

本事業は、地域を対象とする学術研究の成果を人文、社会、自然科学を網羅して総合的に取りまとめ、その地域の過去の歴史、現在の状態、将来の予想を明らかにし、地域のアイデンティティーと将来像を考える一助とするにとともに、この過程において、地域の産官官の連携や学術研究者と地域住民の交流をも促進することを狙いとするモデル事業と位置づけています。

## 平成6年度に開催する日本学術会議共同主催国際会議

日本学術会議は、昭和28年9月の国際理論物理学会議の開催以来、平成5年度までに135件の国際会議を関係の学術研究団体と共同して開催し、我が国のみならず世界の学術水準の向上に努めてきたところであります。平成6年度においても、次表の6会議を共同主催することとし、本年6月25日、これらの国際会議の開催とこれについて所要の措置を講ずる旨の閣議了解を得ました。また、本年は、平成8年(1996年)度閣議了解の国際会議については共同主催の申請を受け付けており、締切りは10月10日です。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局情報国際課国際会議課 (電話03-3403-6291(内)254、255)

会議名	第8回国際神経・筋学会	第24回国際園芸学会	第30回固体化学国際会議
母体機関	世界神経連合	国際園芸学会	国際純正・応用化学連合
共催団体	日本神経学会	園芸学会	(社)日本化学会 固体化学研究会
参加予定人数	国外1,100人 国内800人 計1,900人(41か国・2地域)	国外1,000人 国内750人 計1,750人(88か国・2地域)	国外300人 国内700人 計1,000人(46か国・2地域)
開催時期	7月10日～15日(6日間)	8月21日～27日(7日間)	7月24日～29日(6日間)
開催場所	京都市(国立京都国際会館)	京都市(国立京都国際会館)	京都市(国立京都国際会館)
開催間隔	4年ごと	4年ごと	1ないし2年ごと
組織委員会委員長	国立精神・神経センター 名誉総長 里吉栄二郎	東京農業大学農学部 教授 岩田正利	(準)職員代表者 立命館大学理工学部 教授 大橋仁志

会議名	第21回世界心電学会	第47回国際情報トキョー通信連盟総会	第2回国際病態生理学会総会
母体機関	世界心電学会	国際情報トキョー通信連盟	国際病態生理学会
共催団体	日本心電学会 (財)日本心臓財団	(社)情報処理学会 (社)情報科学技術協会 情報知識学会	日本病態生理学会
参加予定人数	国外500人 国内1,000人 計1,500人(30か国)	国外400人 国内800人 計1,200人(55か国・1地域)	国外500人 国内800人 計1,300人(62か国・2地域)
開催時期	7月3日～7日(5日間)	10月2日～9日(8日間)	11月19日～24日(6日間)
開催場所	横浜市(横浜国際平和会議場)	大宮市(大宮ソニックシティ)	京都市(国立京都国際会館)
開催間隔	毎年	2年ごと	4年ごと
組織委員会委員長	国立養老所中野病院 病院長 春見建一	国文学研究資料館 客員教授 藤原 勇	日本製薬製薬株式会社生物活性科学研究所 所長 大村 裕

## 日本学術会議主催公開講演会

### ——女性科学研究者に期待する——

日本学術会議は、学術の成果を国民に直接還元するための活動として、日本学術会議委員が講師となつて、市民を対象に年3回公開講演会を開催しています。この度、次の公開講演会を開催しますので、お知らせします。多数の方々のお越しをお待ちしています。

- (1) 日時 平成5年11月26日(金)13:00～16:30
- (2) 会場 日本学術会議講堂 (地下鉄千代田線「乃木坂駅」下車徒歩1分) 「女性科学研究者に期待する」
- (3) テーマ 「女性科学研究者に期待する」
- (4) 演題及び演者 加藤春恵子(第1部会員、東京女子大学現代文化学部教授)

・女性科学研究者問題に関する日本学術会議の取組

須藤 一(第5部会員、東北学院大学工学部教授)

・女性学ジェンダー論の発展と役割

加藤春恵子(第1部会員、東京女子大学現代文化学部教授)

・自然科学分野に見られる女性進出とこれに伴う諸問題

本間 慎(第6部会員、東京農工大学農学部教授)

・女性科学研究者の地位向上と基盤整備(スウェーデンを例として)  
一番ヶ瀬康子(第1部会員、日本女子大学人間社会学部部長)

(申込方法)  
聴講(入場無料)を希望される方は、はがきに、郵便番号、住所、氏名を明記し、11月12日までに下記までお申し込みください(複数人の連記可、FAX送付可)。締切り後も、席に余裕があれば、受け付けますので、下記までお問い合わせください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34  
日本学術会議事務局「公開講演会係」  
TEL 03-3403-6291(代) 内線228  
FAX 03-3403-6224

「日本学術会議だより」について御意見・お問い合わせ等がありましたら、下記までお寄せください。

〒106 東京都港区六本木7-22-34  
日本学術会議広報委員会 電話03(3403)6291